ライブラリーニュース

平成３０年　７月１８日（水）

「かながわ読書のススメ」

今、神奈川県全市町村で「読書活動」を推進するために、さまざまな計画を立てて取り組んでいることを知っていますか？

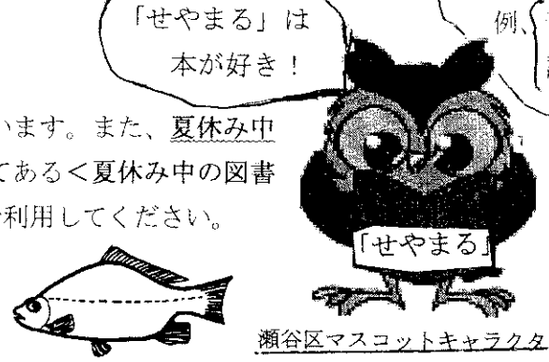
「読書活動は言葉を学び、知性や感性を磨き、表現力、想像力を高め、人生をより深く生きる力を身に付ける上で大切なもの」として文部科学省・教育委員会を初めとして横浜市でも「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」を制定して読書活動の推進に取り組んでいます。（条例とは地方自治体が議会の議決を経て決めた法規）また、瀬谷区でも、

～生きる力を育み、こころの豊かさと人のつながりを
実感できる読書環境づくりを進めます～　を目標に

瀬谷図書館・瀬谷区役所を中心に近隣の小・中・高校・地区センターなど協力して読書活動の推進に取り組んでいます。そこで、横浜隼人中学・高校でも

夏は思いっきり読書しよう！

と、先週から「夏休みの読書用に１人５冊まで」本を貸し出しています。また、夏休み中も、どんどん図書館を利用してください。開館日は教室に掲示してある＜夏休み中の図書館開館日のお知らせ＞を見てください。図書館にも置いてあるので利用してください。



瀬谷区マスコットキャラクター

新しく入る予定の本（小説）の紹介

『房総グランオテル』（越谷オサム）『奏弾室』（仁木英之）『アリス殺し』（小林泰三）
『５分後に恋するラスト』（エブリスタ）『車いす犬ラッキー』（小林）
『限りなく透明に近いブルー』（村上龍）『リトル・バイ・リトル』（島本理生）
『キルプの軍団』（大江健三郎）『捨て猫に拾われた男』（梅田悟司）
『金曜日の本屋さん』シリーズ（名取佐和子）『奇譚ルーム』（はやみねかおる）
『偽物語』（西尾維新）『リアルフェイス』（知念実希人）『ab さんご』（黒田夏子）
『ぼくらのきせき　ほのぼのログ』（藤谷澄子）『リケコイ』（喜多喜久）
『ドルフィン・デイズ』（旭晴人）『きっと彼女は神様なんかじゃない』（入間人間）
『ののはな通信』（三浦しおん）『青の数学』（王城夕紀）『万引き家族』（是枝裕和）
『時の番人』（アルボム）『モンテクリスト伯』（デュマ）『１３の理由』（アッシャー）
など・・・他にも小説だけでなく様々な分野の興味深い本がたくさんあります。

＜貸し出し冊数のお知らせ＞

今年４月から７月１３日（金）までの貸し出し冊数が１４４６冊　！

（昨年度、４月から７月４日までの貸し出し冊数、１１０５冊に比べると貸し出し冊数が非常に増えています。１日の読書時間がゼロの大学生が５割を超えたという調査結果が今年２月に発表されましたが、横浜隼人のみなさんは「本好き」が多いのではないかと思います。読書量は高校生までの習慣に関係すると言われています。暑い夏、「本の中に広がる別世界に身を置いて、心地よい時間を過ごしましょう。」

この夏、思い切っていろいろなことに挑戦してみませんか？

図書館にたくさんの作品募集案内が来ています。
その中から少し紹介します。

全国高校生創作コンテスト
短篇小説・現代詩・短歌・俳句
高校生新聞社主催　　9/11 必着

創作漢字コンテスト
100 年後まで残る漢字を作ってみませんか。
例、音　ユウ　訓　ママとも　→ 友

東洋大学
現代学生百人一首
現代学生のものの見方、生活感覚」を詠み込んだ短歌募集
例、「大人しい　君が歴女と　知ってから
好きになってる　織田信長も」
(9/21～10/17)

神奈川大学
全国高校生俳句大賞
君の感性を 17 音に一。
例、「運動会　文学好きな　君走る」
(9/4 必着)

この他にも多くの募集がきています。
図書館に資料が置いてあります。
また、「公募ガイド」（雑誌）にも
掲載されています。ぜひ、チャレンジを！

●中学２年生の作家を紹介します。
３年連続で小学館主催
「12 歳の文学賞」大賞受賞

鈴木るりかさ田中さん

大人が読んでも楽しいと評判。

＜挑戦しませんか、ビブリオバトル＞

「人を通して本を知る、本を通して人を知る」

7/25　中高生対象の体験ワークショップが県立霧が丘高校で横浜市緑図書館主催で行われます。（無料）

9/9　成蹊大学で全国高等学校書評合戦ビブリオバトル開催。観戦もできます。